

令和2年7月16日

学生各位

理事・副学長（教育担当） 宮下 俊也

新型コロナウイルス感染拡大に対するさらなる注意喚起について

学生の皆さんにおかれましては、日々元気でお過ごしのことと思います。

さて、昨今の首都圏や、奈良県を含む近畿圏を中心とする新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、7月14日付けで、「令和2年度補講・前期試験期間（7月29日～8月12日）を含む8月31日までの補講と、前期試験 及び前期集中講義における対面授業等受講に係る留意事項について」を発出したところです。引き続き非対面による授業やゼミ等が続きますが、どうかご理解いただきたく思います。

第2波ともいえる現状は、とりわけ10代・20代の若者の感染が多く認められ、奈良県内においても初のクラスターが発生したり、県立高校において休講措置が取られたりしております。決して過度に恐れることはありませんが、今一度、「新型コロナウイルス感染症に対する学生ならびに教職員の行動指針」を読み、そこに示されている、①他人に感染させない、②自らが感染しない、③社会的リスクマネジメントの厳守に努めてください。

<https://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SOUMU/corona2020/kodoshishin0706.pdf>

また最近では、症状は見られないもののすでに感染しているケースも認められています。「自分は感染しているかもしれない」という意識をもって対面授業を受け、日々の生活を注意深く送ってください。また、いわゆる「夜の街」での飲食やアルバイトは慎んでください。対面の授業で来学した際は、友人と密になって歩くこともできるだけ避けてください。

大学は、引き続き教職員一丸となって、皆さんの健康を守るために力を尽くします。また、一日も早く通常の授業や課外活動ができるよう、慎重に検討を続けております。いましばらくは、不自由な学生生活をお願いしてしまいますが、どうかご理解いただき、皆さん自身も健康にくれぐれも留意してください。

来週は、4連休があります。規則正しい生活の中で楽しみを見つけ、この環境下においても充実した学生生活を送っていただくよう希望します。

最後になりますが、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例が示される中、新型コロナウイルスと共存していくうえで、正しい理解と適切な対策が必要なため、昨日オンライン講演会「新型コロナウイルスと共存に向けて」ー正しく知って正しく恐れるーを開催しました。ついては学内限定のオンデマンドで視聴できますので、必ず受講してください。

[オンデマンドの視聴はここをクリックしてください。](#)